

北星学園大学&朝日新聞社「メディアと社会」公開授業 高市政権と憲法改正に向き合う

高市内閣が高い支持率を維持している一方、全国各地で「戦争反対」「憲法改正反対」を訴えるデモが続いています。政治は、選挙結果がすべてではありません。政治の主人公は、主権者たる私たちひとりひとりです。なぜかとっつきにくいと思われている政治との向き合い方、そして、高市首相がエンジンを吹かす憲法改正について、ともに考える機会にできればと思います。

講師：高橋純子（朝日新聞編集委員）

1971年福岡県生まれ。1993年朝日新聞社入社。鹿児島支局、政治部、論説委員、政治部次長などを経て編集委員。朝日新聞朝刊オピニオン面「多事奏論」を担当。著書に『仕方ない帝国』（河出書房新社）。岩波書店『世界』誌に「あたふたと身支度」連載中。



公開授業聴講方法

◎ 学外のかたは下記のいずれかの方法で聴講をお申込みください。先着40名様。

☆ 右記のQRコードから申込みフォームに入力。

☆ 往復葉書の往信部分に、氏名・住所・電話番号・メールアドレス・参加人数（2名まで）を記して、〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2-3-1 北星学園大学教育支援課「メディアと社会」公開授業係まで送付。

6月21日(日)〆切（必着）。受講の可否等の詳細は返信メールまたは返信葉書にて連絡します。

◎ 本学の学生・教職員は自由にご参加ください。



北星学園大学では、2007年度より、大学共通科目として「メディアと社会」（朝日新聞連携科目）を開講しており、2023年度からの新カリキュラムでは経済学科専門科目として継続しています。朝日新聞社の道内外の記者やHTB（北海道テレビ放送）のかたがたにオムニバスで講義いただいている「メディアと社会」では、全14回のうちの1回を公開授業としており、今年度は高橋純子さんご出講の回を公開授業といたします。ぜひ、ご聴講ください。

7/3(金)
13:00~14:40
北星学園大学 A館
A305教室
(東西線大谷地駅 徒歩5分)

主催：北星学園大学経済学部経済学科 協力：朝日新聞北海道支社、朝日新聞東京本社教育政策室
お問合せ：011-891-2731（北星学園大学教育支援課）